

トヨタウェイ

—トヨタの企業家精神—

奈良トヨタグループ 代表取締役社長 菊池 攻 氏

火曜午餐会2月第1例会を7日に開催した。当部の会長でもある菊池攻氏は、国産自動車開発に人生をかけた人々を描いたトヨタ自動車創業時のTVドラマ「リーダーズII」の映像を交えながら、「トヨタの企業家精神」について多方面から語られた。

【自己紹介】

日頃はトヨタ車をご愛顧頂きありがとうございます。私はプライベートでは、キリマンジャロ山の登頂、10回以上登拝させて頂いている大峰奥駆修行においては「大先達」の称号を頂き、その他アンコールワットハーフマラソンを完走するなど様々なチャレンジをしている。座右の銘は「一期一会」「飲水思源」。モットーは「運・根・鈍」「程を知る」で、真摯さ、奉仕の心を大事にしている。

【トヨタ自動車の創業】

豊田佐吉氏が1926年に設立した豊田自動織機製作所が始まり。息子の喜一郎氏は欧米視察で自動車産業の発展を見て、「将来日本人が主体的に国産車を創る」という決意を持ち、豊田自動織機の自動車部を独立させて1937年トヨタ自動車工業を創業した。

【奈良トヨタの始まり】

創業者菊池武三郎は、自動車産業の将来にかけて、豊田喜一郎氏・神谷正太郎氏とともに大変な時代を乗り越えてきた。1925年双子商会（オイル商）設立、1929年奈良自動車（バス会社）を設立、1938年奈良日産自動車販売会社を共同設立。太平洋戦争時代、自動車は軍需産業でトヨタ・日産・いすゞが合併し自動車配給会社が出来たが、自動車の将来に向けて日産からトヨタに移り、1942

年奈良県自動車配給会社（現奈良トヨタ）を創業した。

【豊田綱領】

豊田佐吉氏の考えを、豊田利三郎氏、喜一郎氏が中心となって成文化したもので、トヨタグループ各社に受け継がれ、全従業員の行動指針として役割を果たしている。「一、上下一致、至誠業務に服し産業報国の実を拳ぐべし。一、研究と創造に心を致し常に時流に先んずべし。一、華美を戒め質実剛健たるべし。一、温情友愛の精神を発揮し家庭的美風を作興すべし。一、神仏を尊崇し報恩感謝の生活を為すべし。」トヨタが長野県蓼科に交通事故物故者の供養に建立した聖光寺は薬師寺の末裔で、縁を繋いだのは菊池武三郎である。

【トヨタウェイ】

2001年、張富士夫氏が社長の時に明文化。外国人にもわかりやすい形にし、全世界の事業体で同じ価値観の共有が可能になった。◇チャレンジ◇改善◇現地現物◇リ



スペクト◇チームワーク（「改善」と「現地現物」は世界語になっている）

【新ビジネスモデルへのシフト】

「豊田綱領」「トヨタ基本理念」「トヨタウェイ」という共通の価値観が根本にあり、「良い社会」「安定した経営基盤」「もっといいクルマ」を循環していくために、「電動化」・「情報化」・「知能化」といった新たなビジネスモデルへの変革にチャレンジしていく。

【トヨタの歴代経営者の言葉】

〈豊田章一郎名誉会長の座右の銘〉◎任たるや重く、道たるや遠し◎四耐四不（したいしふ）（孤独・苦しみ・煩わしさ・閑職に耐え、腹を立てず、調子に乗らず、喧嘩をせず、言いなりになるな）

〈神谷正太郎氏（元トヨタ自動車販売社長）〉◎1にユーザー、2にディーラー、3にメーカーの利益を考えよ 〉石田退三氏（トヨタ自動車3代社長）◎自分の城は自分で守れ◎決断を急げ 〉奥田 碩氏（トヨタ自動車第8代社長）◎何も変えないことが最も悪い◎時代が変われば強さが弱さになる。企業カルチャーは絶えず変わって行くべきだ 〉張富士夫氏（トヨタ自動車第9代社長）◎トヨタ生産システムは人の意識で成り立つ。人間尊重がトヨタウェイ◎責任を追及するのではなく原因を追究する。

【奈良トヨタと地域の関わり】

〈創業の精神〉①大円通（枝葉にとらわれず大道を行く）②飲水思源（水を飲むたびに源を思え）③“三す”の精神～かたよらず、こだわらず、とらわれず～ 〉企業理念「すべてのご縁を生かして地域社会に貢献する」 〉社員の行動指針 ①まず動く②現地現物③改善④法令遵守⑤チームワーク⑥挨拶と時間厳守⑦明るく元気に⑧3つの視点一蟻の目、鳥の目、魚の目⑨報・連・相⑩なぜな

ぜ5回⑪Bad News First 〈社会貢献活動の実施〉地域の清掃活動、神社仏閣への寄進・支援活動、市町村・団体・行事への協賛（奈良マラソン等）、被災地支援、県・市町村・神社仏閣への車両寄付、慰霊塔建立、講演会の開催、ミュージカル「二月堂良弁杉」を豊田市民会館で公演。川上村での奈良トヨタグループの森作り等。

【TOYOTA・車のこれから】

カーボンニュートラル・自動運転など次世代を見据えた多様な電動車の普及を目指す。2030年までにEV（電気自動車）を30種類展開、グローバルで年間350万台販売を目指し、レクサスブランドでは同年までに、北米、欧州、中国でEV100%を目指す。静岡県では、自動運転、ロボット、人工知能（AI）技術などを導入・検証できる実験都市「ウーブン・シティ」を建設中である。

【奈良トヨタのブランディング】

当グループは販売店としてメーカー表彰を34回受賞。2021年「奈

良トヨタ株式会社」に社名を変更した。◇企業理念、行動指針の浸透◇エコアクション21全店認証継続◇健康経営優良法人「ホワイト500」5年連続認定◇賢島研修所開所◇「まほろばミュージアム」オープン（エンジニアがレストアした旧車やクラシックカーなどを展示、レストランを通じて自動車文化を醸成していく全国初の博物館）

【今後に向けて】

①スピリット（創業精神・理念）、センス（勘・判断・良識）、スピード（速さ）の3S経営の進化 ②時代の流れにあわせた風流型企業モデルの構築（顧客や市場にあわせた経営）（オリジナリティのある取り組み、自社の強みの徹底）（デジタル化の中でのアナログ力の強化） ③古都・奈良にふわしい社会貢献の深掘りを考えている。これまで色々やってきたが、奈良県の形も変わってきているので、それに合った社会貢献活動を考えて行きたい。